

九州いちご試食イベント 実施報告

Strawberry Island Kyushu
- Kyushu Strawberries Bring you Smiles -

農林水産省 九州農政局

九州農政局においては、「福岡空港におけるいちご試食イベント」を開催し、インバウンド客へのマーケティングを通じたいちごの輸出促進の取り組みを実施いたしました

実施背景

- 九州農政局管内において、青果の輸出額ではいちごが最も多い金額を占める。現在、九州管内の事業者は個別に販路開拓やマーケティングを行っているが、いちごの品質では他国のものより優れている一方で、マーケティングにおいては優位とは言えない状況である。
- また、コロナ収束以降、海外からのインバウンド旅行者が増加傾向にあり、日本の農林水産物や食品のマーケティングとして、インバウンド客を対象とした取り組みが注目を集めている。特に福岡空港は多くのアジア便が就航しており、九州のアジア玄関口として多くのインバウンド客が訪れている。
- このような状況を踏まえ、九州産いちごのマーケティングを「All 九州」として統一的に進めるために、インバウンド客を対象とした試食イベントを通じて、九州産いちごのファン作りを狙う。また、インバウンド客・バイヤー向けの多言語カタログ・リーフレットを準備。これにより、九州産いちごの認知度向上と販路拡大を目指す。

主な実施事項

- **九州いちご試食イベントの開催**
 - 主催：九州農政局
 - 共催：福岡国際空港(株)、(株)福岡ソリク、ジェット福岡
 - 日時：2025年1月28日 ～ 2月3日
 - 場所：福岡空港 国際線旅客ターミナル4階
 - その他：関連したマーケティング施策を複数実施

九州いちご試食イベントの実施サマリ

農林水産省 九州農政局

九州いちご試食イベントを実施、各関係者と協力しセレモニーやインフルエンサーの招聘などでマーケティング効果を高めたイベントを実施しました

カテゴリ	実施事項	定量成果	定性成果
試食イベント実施	- 福岡空港 国際線旅客ターミナル4階にて、インバウンド客を中心に試食提供 2025年1月28日～2月3日の7日間提供 9種類の九州産いちごを試食提供	19か国 1,705名へ提供	- 参加者の96%から好評価、アンケート結果からも多品種の魅力の訴求が確認できた - 参加者は韓国が最も多く、台湾、香港は十分な数で提供も、東南アジアが少ない状況
関係者との協力	- 管内JA、九州全県に参加を呼びかけ - フラッグシップ輸出産地の事業者へ協力依頼 - 福岡国際空港(株)、(株)福岡ソリク、ジェトロ福岡が共催として実施	JA 7団体 7県 3生産者 共催3団体	関係者からのいちご提供やプロモーションに協力いただけたとともに、生産事業者からも協力 - 福岡国際空港や福岡ソリクと協力し、インフルエンサーやPRなどの実行が強化できた
オープニングセレモニー実施	開催初日1月28日にオープニングセレモニーを実施。共催者、協力JA、県など関係者が参加	メディア13社 5社ニュース放映	国内メディアによる発信だったため、インバウンド向けの集客につながらないが、今後の協力者や連携先の拡大に向けて対外的な発信効果が大きかった
インフルエンサー	タイからインフルエンサーを2名招聘し、試食の様子、いちご農園の訪問、周辺の観光スポットなどを発信	いいね 約3,000件 アクセス2.3倍	- 試食イベントやいちご関連の投稿に対し3,000件近くの「いいね」が。インフルエンサー投稿後、タイからのWebサイトアクセス数が2.3倍に増加 - 今後ファンづくりにどう活用するかを検討予定
ブローシャーカタログなどツール作成	- 九州いちごをインバウンド客・バイヤーに対してアピールするためのリーフレット・カタログを8言語対応にて作成 - Webサイトを作成し5言語にて発信	8言語の リーフレット・ カタログ	- 試食イベントではブローシャーなど各言語での説明が非常に好評、航空会社がカウンターで配布も - カタログについても、立ち寄った関係者から「こういう資料は大変助かる」との声も

九州いちご試食イベントの実施状況

農林水産省 九州農政局

9種類のいちごを試食提供するとともに、関係者の協力を得ながらインバウンド客向けのPRを実施しました



関係者の協力で
販促グッズを展開



9種類のいちごをカットし、トレーに入れて提供

いちご試食の様子
提供ブースの背景に目立つポスターを貼付

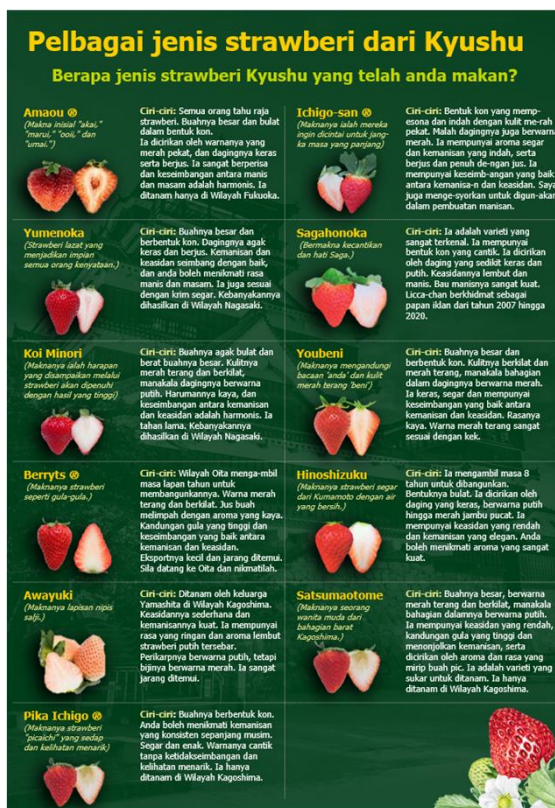


3種類の資料を作成

農林水産省 九州農政局

リーフレットは九州各県の紹介と各いちご品種の紹介、カタログは各品種の詳細、イベントブローシャーはイベント告知を目的として作成し、イベント会場にて配布しました。リーフレット及びカタログについては九州農政局Webサイトでも公開・配布しております

リーフレット



- 九州いちごを1枚で説明できる資料
- 表面は九州の各県の紹介

カタログ



- 九州いちごの歴史、各いちごのストーリーや特徴などをまとめたカタログ
- 消費者だけでなく、輸出先国のバイヤー向けにも活用できる説明資料として作成

全ての資料について
日本語、英語、韓国語、簡体字、
繁体字、タイ語、マレー語、
ベトナム語で作成

- 九州いちご試食イベントのブローシャー
- 会場の説明と、イベント時に提供する9種類のいちごの説明を実施

イベントブローシャー



試食の提供に合わせてアンケートを実施し、試食した9種類の品種に対する感想や、各国のインバウンド客がどのような点を気にして購買を行っているかなどを質問しました

試食アンケート概要

- 試食提供時にアンケートへの回答を依頼
- 日本語、英語、韓国語、中文簡体、中文繁体、タイ語、マレー語、ベトナム語で作成
- 各品種の感想を問うのが目的のため、各品種の説明を読みながら試食し、回答していただいた
- 「言葉がわからないから」とアンケート回答を断ろうとする客もいたが、自国語があるとわかると回答をいただけたため、多言語でのアンケートは非常に効果的だった



主な設問項目

現在の居住地

各品種の好きな点

(あまおう、いちごさん、ゆうべに、ゆめのか、淡雪、さがほのか、ベリーツ、さつまおとめ、恋みのり)

試食イベントに対する満足度

母国語のリーフレットが役に立ったか

普段いちごをどんな時に食べるか

普段どの産地のいちごをよく食べるか

いちご購入時の参考点

自国で日本のいちごを食べたことがあるか

いちごの品種を選ぶ際の重視点

帰国後に九州いちごを食べたいか

どのような条件であれば九州いちごを購入したいか

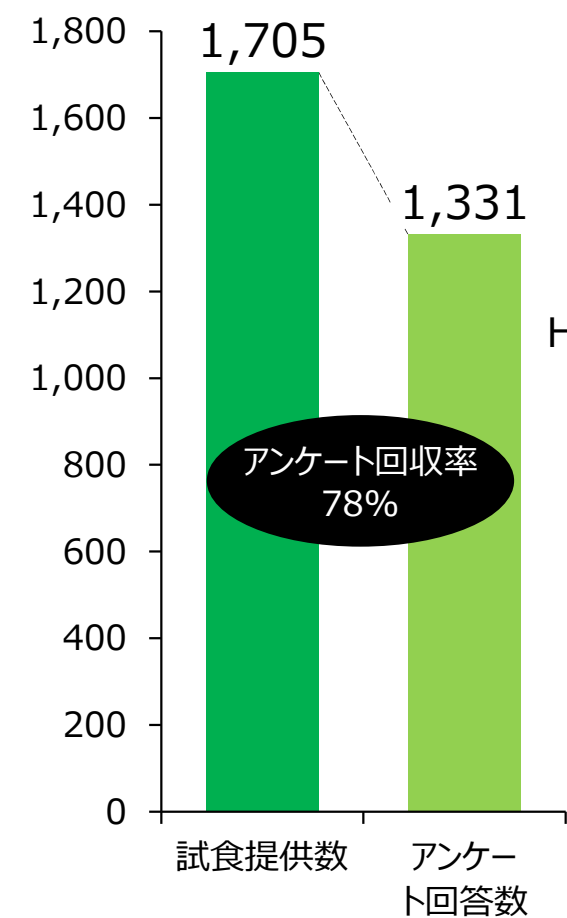
九州観光時にいちご農園を訪問したいか

九州いちごについての感想

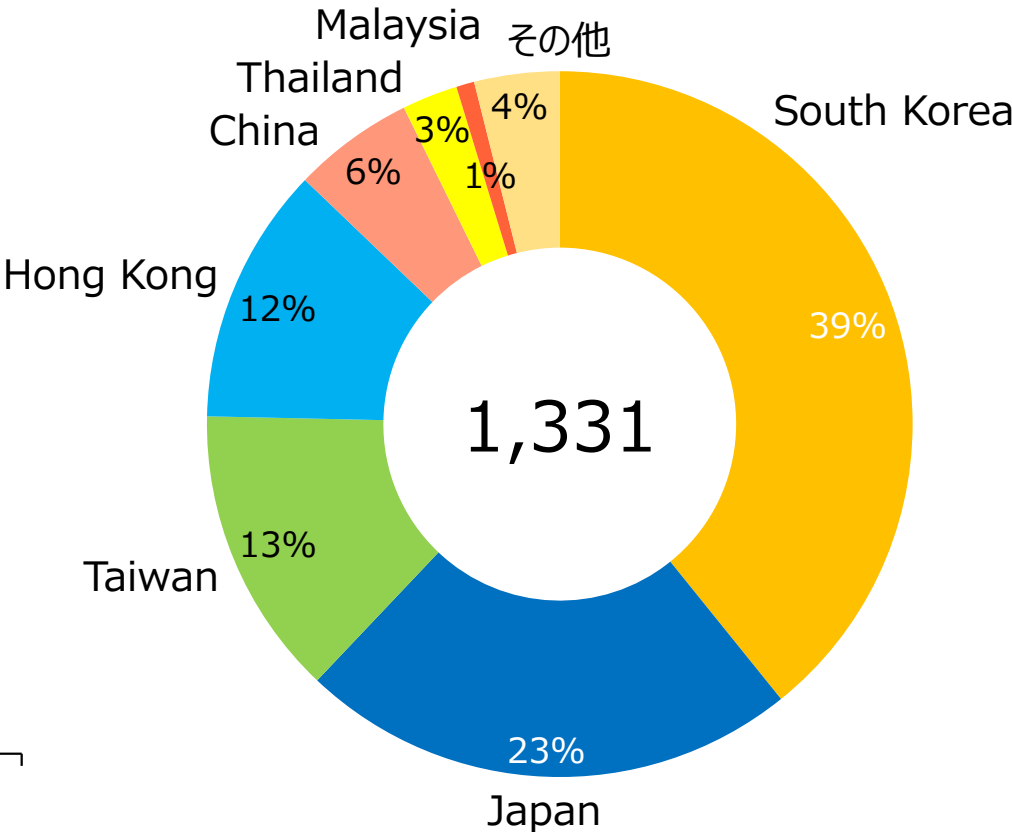
イベントについての感想

1/28～2/3の期間中に1705件の試食提供を行い、約8割弱のアンケート回答をいただきました。
回答数は韓国、台湾、香港、中国が多く、東南アジアはタイが最も多い状況でした

試食提供数とアンケート回答数



アンケート回答の居住国・地域

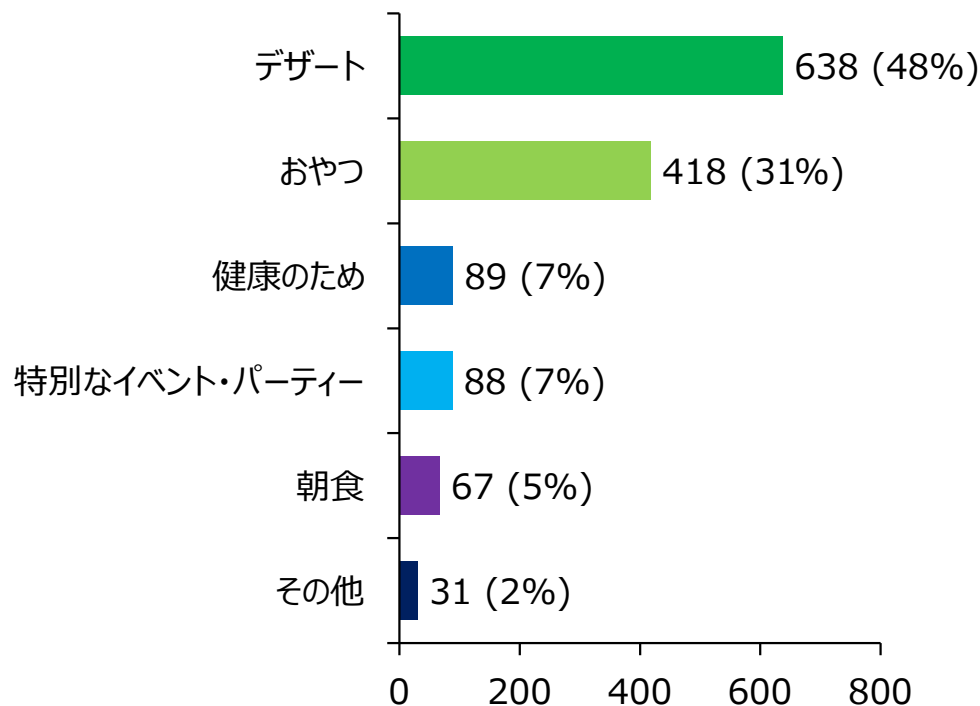


その他国・地域	人数
Philippines	12
Vietnam	11
Singapore	4
Australia	4
Macau	4
Nepal	3
Indonesia	2
Canada	2
Usa	2
England	1
France	1
Slovakia	1

いちごを食べるシーンとしては、デザートやおやつとして食べるという回答が多く、普段食べるいちごの産地としては、日本や韓国産が多いという結果でした

いちごを食べるシーン

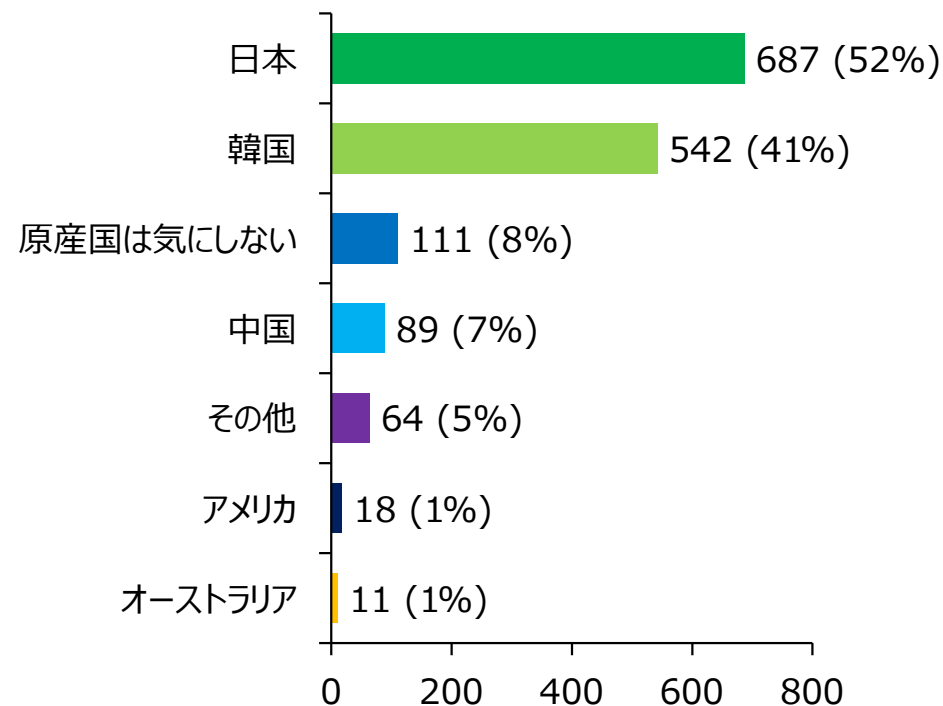
デザートとしていちごを食べる場面、おやつとして食べる場面が多い



普段、いちごをどんな時に食べますか？
(複数回答)

普段よく食べるいちご

日本産のイチゴを食べていると回答する層が多かった



普段よく食べるのはどの産地のイチゴですか
(複数回答)

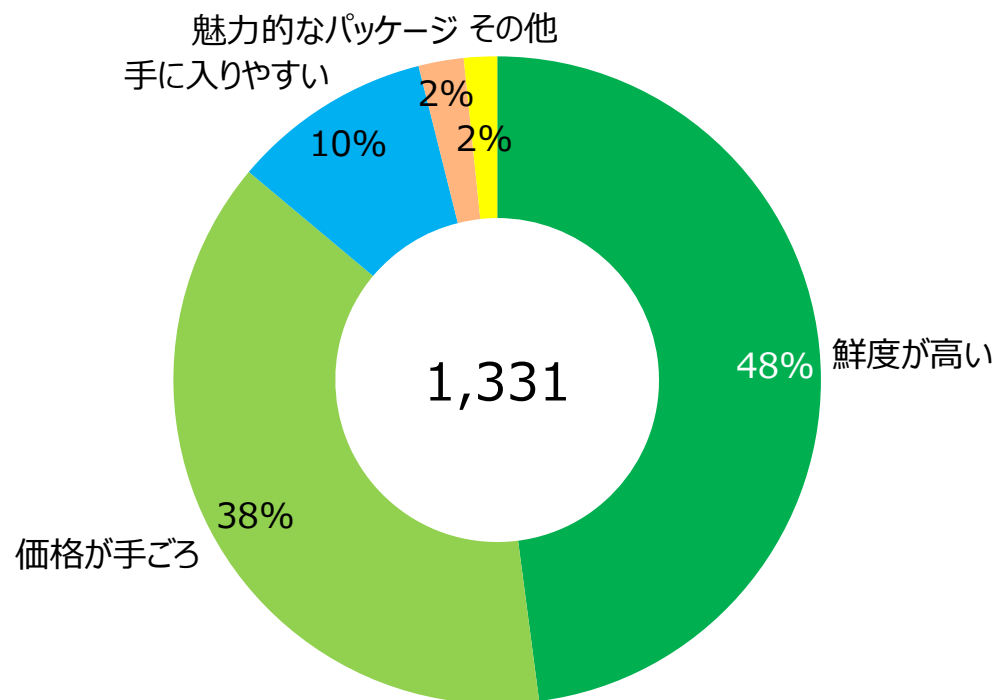
九州いちごの購入条件・農園訪問希望

農林水産省 九州農政局

九州産いちごを購入する際には、鮮度の高さを最も重視するという回答がありました。さらに、約8割の人が九州観光時にいちご農園を訪問してみたいと答えています

九州いちごの購入条件

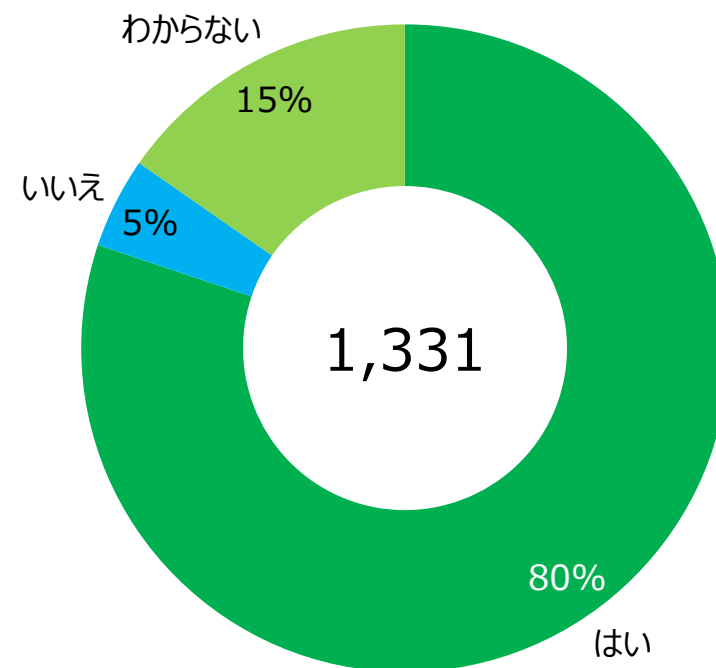
鮮度が高いということが条件としては最も多く、次いで価格が手ごろという点が挙げられた



どのような条件であれば九州いちごを購入したいと思いますか？

九州のいちご農園への訪問希望

8割が九州観光時にいちご農園を訪問してみたいと回答

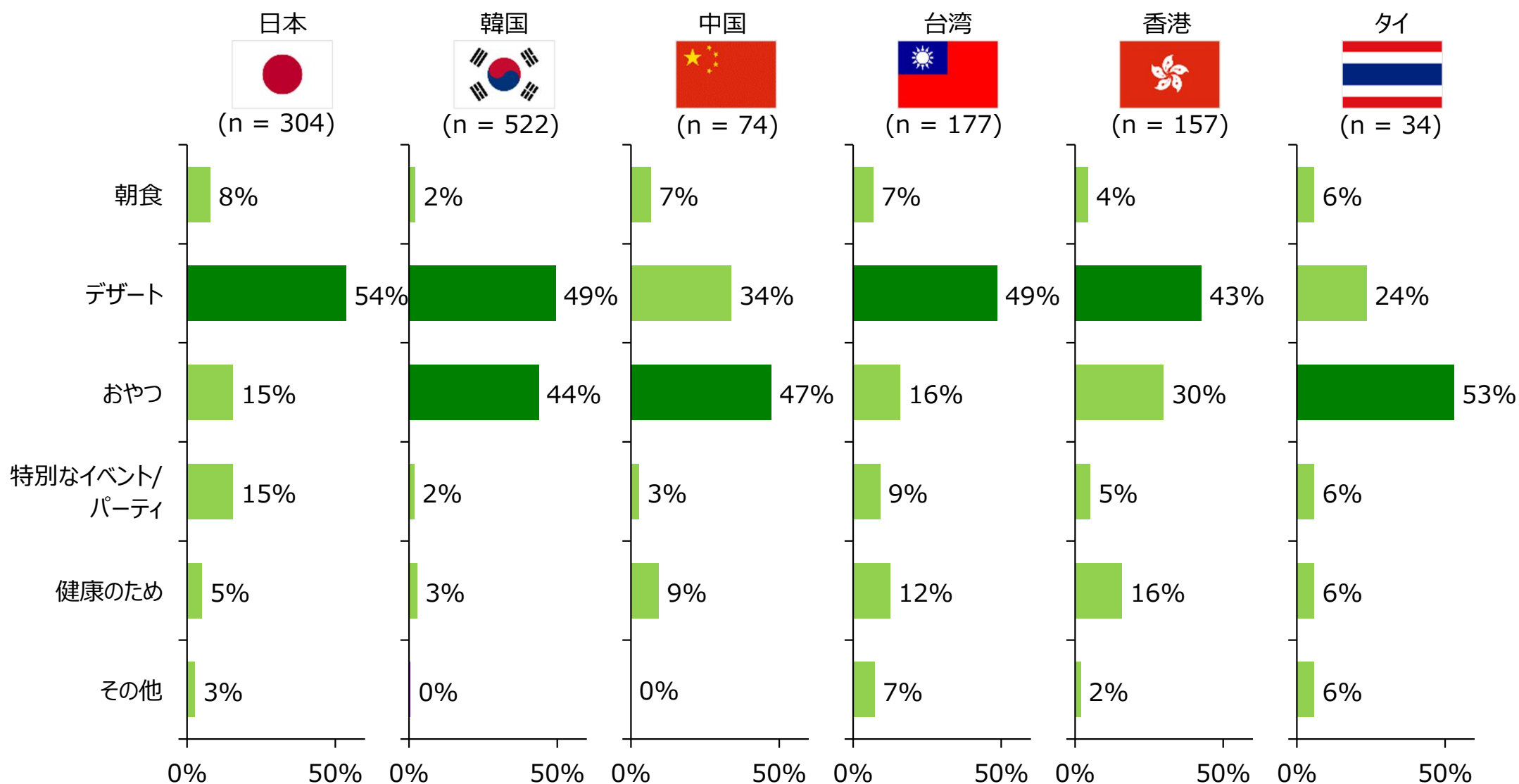


九州観光に来た際にいちご農園などを訪問したいですか？

主要国別：いちごを食べるシーン

農林水産省 九州農政局

台湾や香港では、日本と同様にデザートとしていちごを食べることが多く、中国やタイでは、おやつとしていちごを食べることが多いという結果でした



主要国別：品種選定時のポイント（味の好み）

農林水産省 九州農政局

全体的に、いちごの甘さを最も重視する傾向がある一方、中華圏やタイでは香りを重視する回答が多く見られました。台湾や香港では、ジューシーさを重視する回答が過半数を超えており、タイでは食感を重視する回答が多いという結果でした

